

# 賢い補聴器選びのための補聴器比較表

※印刷してお使い下さい。

補聴器は、メーカーによって音質が異なります。ご自分に合った聞こえを上手に選びましょう。  
下の表に、ご購入を検討する補聴器名や聞き心地などを書き込んでご利用ください。

## (補聴器選びの手順例)

1. ご予算の目安をたてる
2. 補聴器のタイプを決める
3. 試聴して聞こえの比較をする

## マイク分離型オーダーメイドタイプを比較

耳が本来持つ集音効果を活かし、会話の周波数をより明瞭に聞き取ります。

社名 / 商品名	価格	タイプ	チャンネル	指向性	雑音抑制	ハウリング抑制 (ピーピー音防止)	その他の性能・聞き心地
ベルトーン / TOUCH- Promise-17	¥450,000	マイク分離型 オーダーメイド  CIC・カナル	17ch	耳が本来持つ 方向感を活かす タイプ	-9dB/-6dB/-3dB /環境別自動対応	逆位相ハウリング マネージャー (軽・中・強・ ホイッスルストップ)	*内部部品までナノコート。汗や汚れに強い。 *テレビ・携帯電話と無線通信し、声が直接聞こえる ワイヤレスオプションあり。
/							
/							
<b>確認事項</b>	同じくらいの価格でも、音質や聞こえ方はメーカーによって違います。 ご自分に合った音質と性能で納得の行く補聴器選びをしましょう。	補聴器に馴染んでいくために、自分の聞こえに合ったタイプ選びはとても大切です。同じシリーズの中にオーダーや耳かけなど、いくつかのタイプがあります。	各社基準が違うので単純な比較はできませんが、同じメーカーの中で比較した場合は数字が大きい方が音質が良く、細かい調整ができます。	タッチタイプには指向性機能はありませんが、耳本来の方向感覚や集音効果を活かす指向特性があります。	補聴器を快適に使うための重要な機能です。雑音抑制を最大にかけてどのくらい聞こえが違うか聞き比べをさせてもらいましょう。	ピーピーと鳴る不快な音を抑制して快適に使うため、聴力の低下している方ほどより重要となる機能です。	小さい補聴器は使用する電池の大きさも小さくなり、その分電池寿命も短くなる傾向があります。電池の価格や電池一粒の寿命などについても、説明を受けておくと良いでしょう。